

令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	229	学校名	仙台市立桜丘中学校	校長名	國分 晋一
------	-----	-----	-----------	-----	-------

1 取組のテーマ

SDGs ～君の想いが世界を変える～



2 取組の紹介

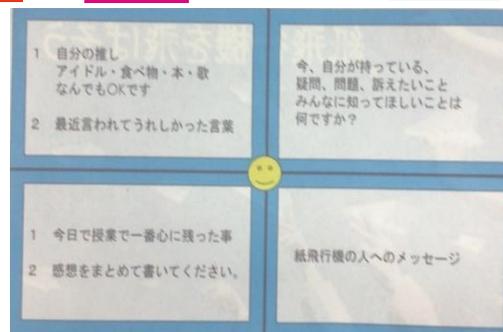
1) SDGs 講演会より (12月17日実施)

◆第2学年では、南澤英夫先生(青森県立大湊高校勤務)をお招きし、講演会を開催しました。「自分の考えをどのようにアウトプットするのか、世界で起きている様々なものに興味関心を持つこと、様々な考えに触れ自分の視野を広げていくことの大切さ」を、SDGs学習を通して学びました。

◆「自分の推しを紹介してみよう」「臓器移植についてあなたはどうか考える?」などなど、様々なテーマについて自分で考え、自分の考えを人に伝える、共有することでどんどん自分の考えが深まっていくことを体感させていただきました。アウトプットすることで、自分の考える力が付く、コミュニケーション力が伸びる、様々な表現方法が身に付く、世界を変えることができる、という壮大な考えを学びました。

◆実際に青森の高校生の様々なアウトプットの方法として、
①話し合う教え合う会話②エッセイ・作文・川柳などの文字媒体③ポストカードやポスターといった絵画媒体④アイディアのプレゼンテーション⑤CM/動画などの映像媒体⑥プロジェクト企画・参加という方法を知りました。具体的な例としてCMやポスターの例を見て他者への伝え方を学習しました。

【写真A】「地球環境を考えよう」【写真B】「残食を減らそう」



【写真A】



【写真B】

2) 今年度、実際に行った活動

- ◆ハートフル4 t h (あいさつ運動・草取り・ごみ拾い)
- ◆夏まつり花火大会後ゴミ拾い ◆桜ヶ丘地区清掃
- ◆募金活動 (赤い羽根協働募金・能登半島地震募金)

3 取組の成果 (児童生徒の変容)

【SDGs講演会感想より】

- ・世界の問題は自分の身の回りの生活や環境に深く関わっているのだと感じました。
- ・1番心に残っている言葉は、「君たちは見ているだけじゃなくて、この問題の当事者なのだから」と、言う言葉です。
- ・高校生のCMや動画などを見て、学生でも世界中の人々に疑問や想いを訴えたり、問題を解決したりするための取り組みができるのだなと思いました。

【全体を通して】

一人一人が行動することによって、国際協力、平和活動、環境問題への提言ができるというふう
に、広がる学習ができました。単なる知識で終わるのではなく、何かを変える、何かを動かす力の
きっかけを考えることができたからか、生徒会では自分たちで考えて地震の募金活動を始めまし
た。この学びを活かし、エコや環境美化など、今までとは違う切り口で活動するかもと期待してい
ます。